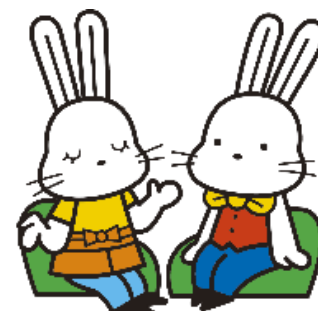


第7次福島市総合計画の策定に向けた

第1回 市民ワークショップ の振り返り

日時:令和6年12月21日(土)
13:30~16:15

会場:ホテル福島グリーンパレス
2階 瑞光の間



ワークショップの参加者構成

◆参加者構成

〈内訳〉

属性		人数
学生	高校生	10
	大学生	13
社会人	各産業従事者	17
	創業者	5
	移住者	5
	子育て世代	9
	関係団体等	24
公募	一般枠	13
合計		96

〈年代別〉

年代	人数
10代	14
20代	27
30代	11
40代	17
50代	10
60代	7
70代	10
合計	96

〈男女比〉

男	45
女	51
合計	96

令和6年12月時点の全体の参加者構成です。

高校性・大学生から様々な分野の社会人まで、多様なメンバーで構成されています。

第1回ワークショップには81名の方にご参加いただきました。

第1回ワークショップのスケジュール

時刻	内容	
13:30	開会・市長あいさつ	市長から総合計画の概要や参加者の期待について話がありました。
13:35	記念撮影	参加者全員で写真を撮りました。
14:50	オリエンテーション・ ウォーミングアップ	班の中で「ワークショップへの期待」を話し合いました。
14:15	福島市からの情報提供	「総合計画とは何か」「いまの福島市の課題や取組」について市から説明した後、班で感想を話し合いました。
14:35	【ワーク①】「福島市って〇〇 だよねを語る」	福島市の「10年後も変わらないでいてほしい」ことについて班で話し合い、特に重要なものを3つ選びました。 (個人の考えを付箋に書きそれを模造紙に貼っていく)
15:05	休憩・共有	他の班の模造紙を見て回り、特に重要な意見のうち共感するものにはシールを貼りました。
15:20	【ワーク②】「福島市って〇〇 だよねを語る」	ワーク①と同じ方法で、「10年後はこう変わってほしい」について話し合いました。
15:50	共有	ワーク①と同じ方法でシールを貼りました。
16:00	クロージング	班の中で「ワークショップの感想」を話し合いました。
16:10	事務連絡・閉会	第2回ワークショップに関する事務連絡をしました。

「開会・福島市長あいさつ」の様子



木幡福島市長から参加者の皆さんに、総合計画やワークショップの方針と
福島市の未来を共に創っていきましょうという思いが伝えられました。

「記念撮影」の様子



会場内のメンバー全員で記念撮影を行いました。

「オリエンテーション・ウォーミングアップ」の様子



①本番前のウォーミングアップとして、今の気持ち（ワークショップへの期待）を参加者それぞれが用紙に記入しました。

②書いたことを班の中で紹介し合い、お互いを知ることで緊張を和らげました。



参加者の声「ワークショップへの期待」

ウォーミングアップの際にお話しいただいた皆様の声を一部紹介します。

- みなさんの意見を聞くことができるのが楽しみです！！
- 打ち解けるとよく話します。今日はよろしくお願いします。いろいろお話を聴きたいです！
- 先輩方のお話きくのが楽しみです！ドキドキわくわく
- 純粹に楽しみです！前回も参加していて、どう違いが出てくるのか？！
- いろいろな年代の方がいらっしゃって、お話をきくのが楽しみ！
- 人と話すことは上手ではないですが、がんばります！
- グループみんなで楽しい時間になるといいな。
- 思ったより、幅の広い年齢層の方が参加していると感じて、どんな意見を聞くことができるのか、わくわく楽しみな気持ちです。
- ときどき、わくわく、若い方やさまざまな職業、立場の方とお話ができることが楽しみ。
福島市のことが話し合えるのも。
- みんながワクワクするまちになったらいいな。
- いい街にしたい。を話し合いたい。
- はじまる前に会話したおかげで、なんとなくチームのメンバーが分かり、緊張が和らいだ。
今日限定ってというのは、急にさみしい気分になるな…
- また、福島扉が開かれる！出会いと知識と未来がふくらむ、とても楽しみ。
- 何をするのか？興味がある。

「福島市からの情報提供」の様子

①職員から現在の市の課題やそれに対する取組、総合計画の概要やワークショップの役割について説明がなされました。

※詳細は別添「福島市からの情報提供」
をご参照ください



②隣席の方と感想を共有した後に、班の中で一人ずつ発表しました。



総合計画って何？

- 市のまちづくりに関する**最も重要な計画**
- 市が**目指す将来のまちの姿(将来構想)**を実現するため、
長期的な展望の下、まちづくりの基本的な方向性を示すもの
- いまは**令和3～7年度の5年間の第6次福島市総合計画**
の期間中
- 現計画の将来構想は・・・

**人・まち・自然が奏でるハーモニー
未来協奏(共創)都市
～世界にエールを送るまち ふくしま～**

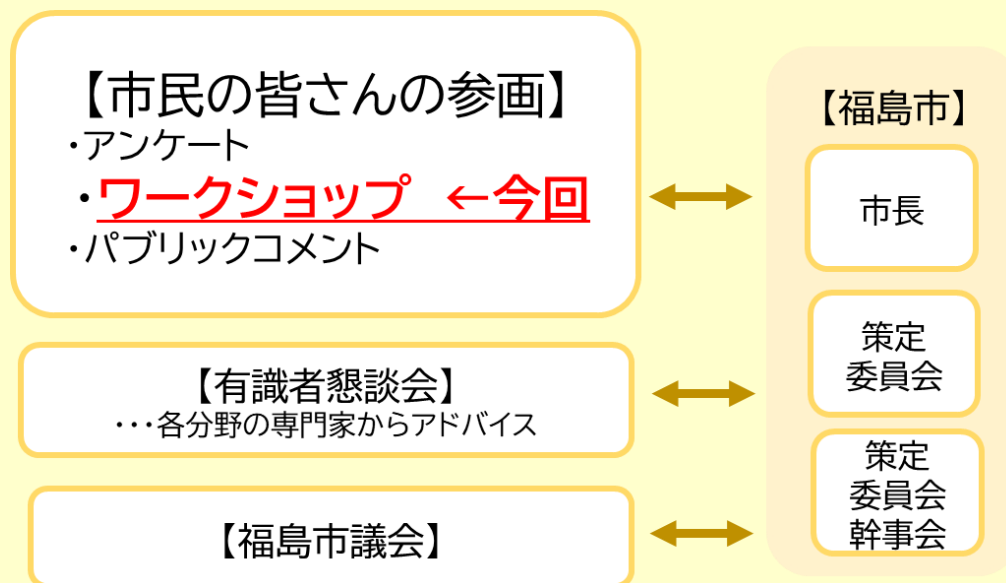
⇒市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
⇒これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げ、「世界にエールを送るまち」に

福島市からの情報提供

Q 次の総合計画は？

- 「**第7次福島市総合計画**」令和8～12年度の5年間の期間
- 総合計画は、福島市をより良いまちするためのもの
⇒まちづくりの主役である市民と皆さんと『**共創**』で進めていきたい

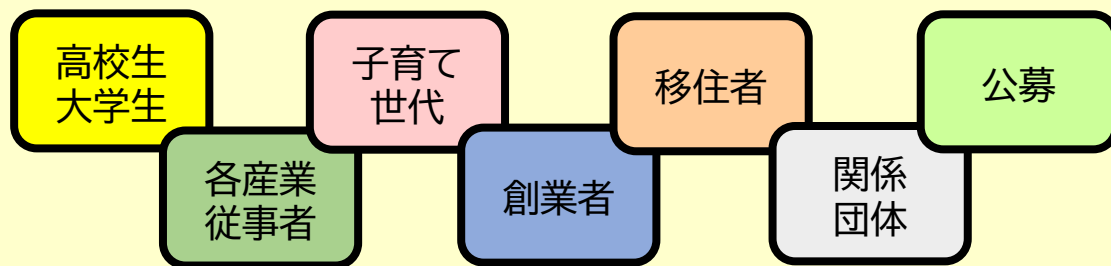
Q 総合計画はどのようにつくるの？



福島市からの情報提供

Q ワークショップって、なに？

- 学生など**若者を中心に**、様々な世代・分野から**約100名**が参加
- 様々な分野・世代の参加者の皆さんで、**福島市への思いを楽しく語り合う**



Q 今日出た意見はどうなるの？

- 皆さんのアイデアは集約し、**総合計画のベースとして反映**
- 有識者懇談会や市役所の策定委員会に、ワークショップの結果を共有しながら、計画の内容を議論し、このやり取りを何度か繰り返して総合計画の素案を作る

「ワーク①：福島市って〇〇だよねを語る」の様子

福島市の「10年後も変わらないでいてほしい」ことについて考え、班で話し合いました。

①考えを付箋に書き、班の中で紹介しながら模造紙に貼っていきました



②班の中で、どれが重要か話し合い、「特に重要！」という付箋を3枚程度選んで、マーカー囲みました。

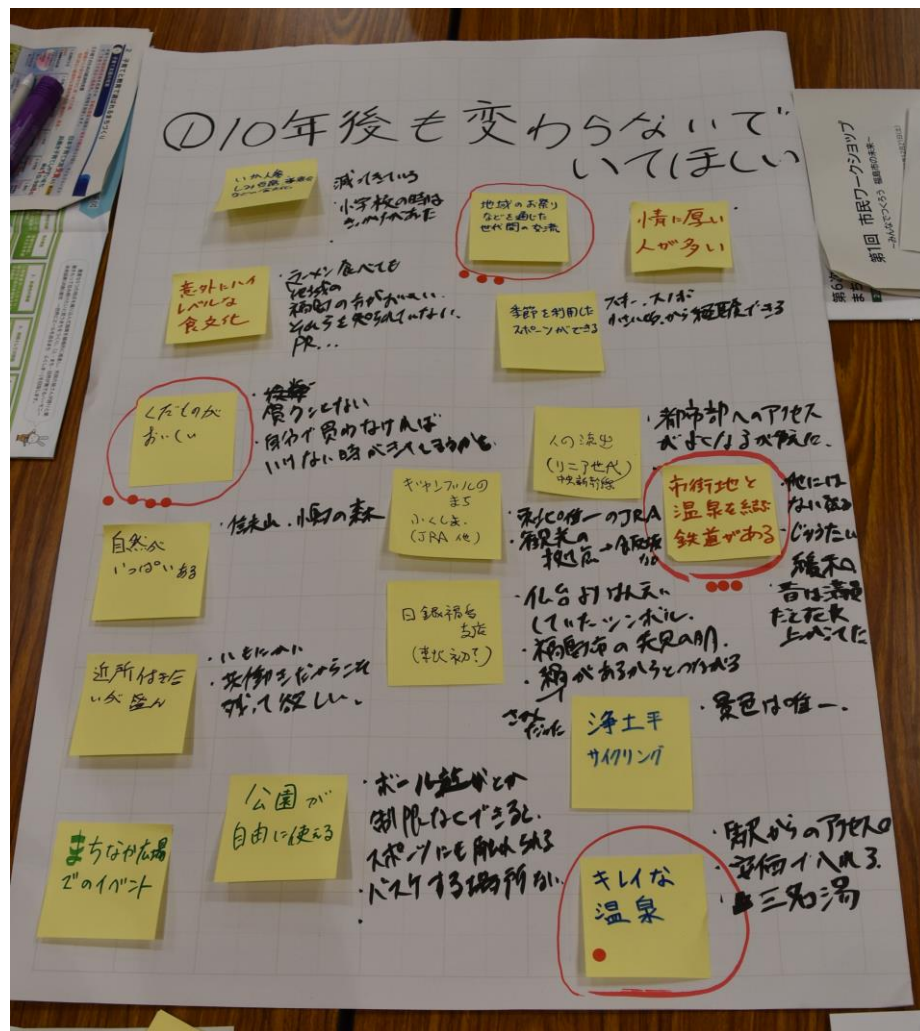


「休憩・ワーク①結果の共有」の様子



休憩を取りながら、近くの
テーブルの模造紙を見て回り、
マーカーで囲まれた意見のうち、
共感するものに赤いシールを貼
りました。

ワーク①で完成した模造紙の例



「ワーク②：福島市って〇〇だよねを語る」の様子

福島市の「10年後はこう変わってほしい」ことについて考え、班で話し合いました。

①考えを付箋に書き、班の中で紹介しながら模造紙に貼っていきました



②班の中で、どれが重要か話し合い、「特に重要！」という付箋を3枚程度選んで、マーカー囲みました。



「ワーク②結果の共有」の様子

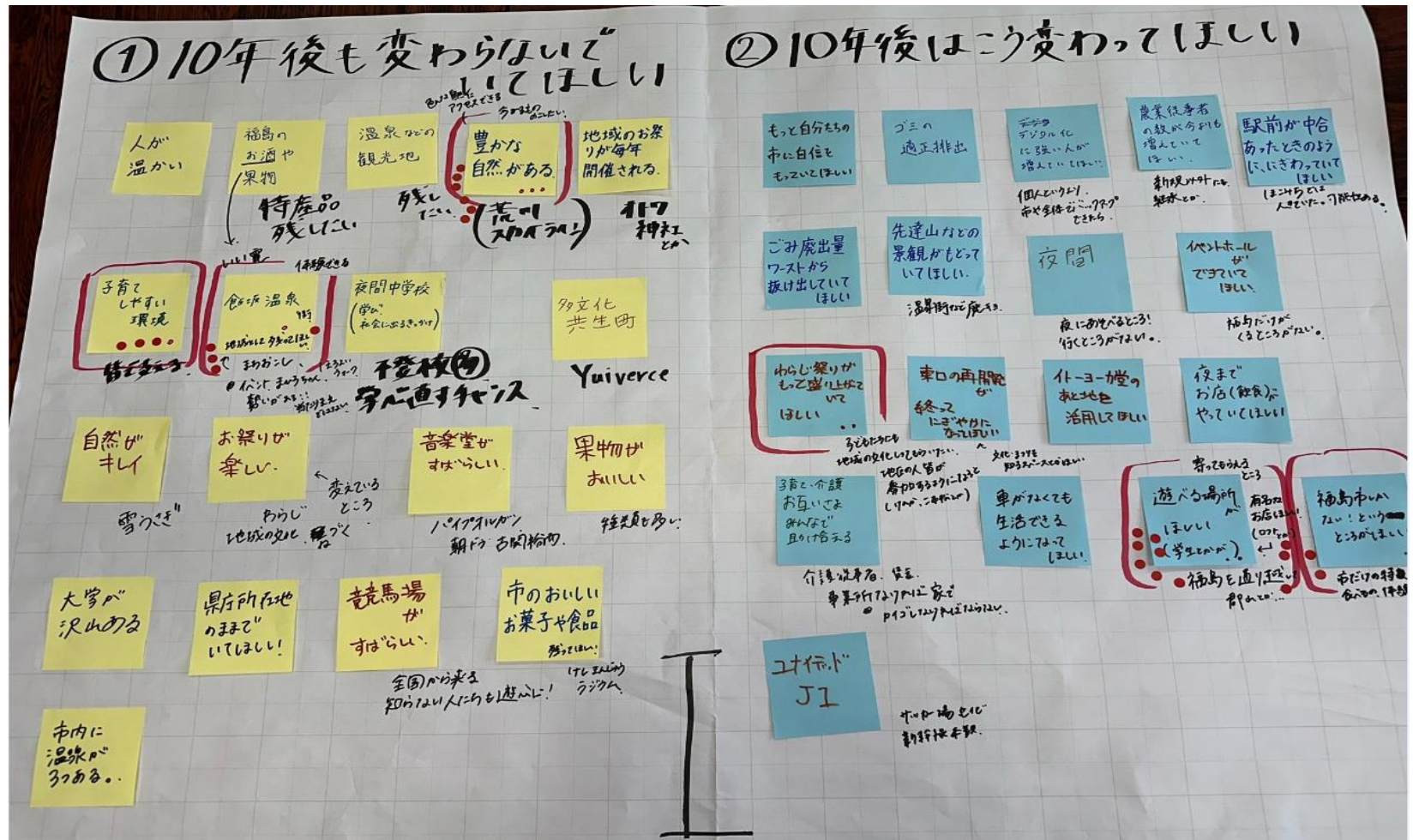
近くのテーブルの模造紙を見て回り、マーカーで囲まれた意見のうち、共感するものに赤いシールを貼りました。



ワークショップ全体を通して和気あいあいとした雰囲気が進められ、自然と参加者間の交流も生まれていました。



完成した模造紙の一例



①個人の意見を付箋に書き、班で紹介しながら模造紙に貼る

②班で話し合いながら付箋を追加していく

③重要なものを3つ選んで赤丸で囲む

④他の班の意見を見て共感したものにシールを貼る

参加者の声「ワークショップの感想」

クロージングの際にお話しいただいた皆様の声を一部紹介します。

- みなさんの意見を通じて、福島市の新たな魅力と課題？を発見できたことがすごく楽しかったです！
- ふくしまの「分からない」を知ることができたし、「これからどういていこうか？」という展望も考えることができて、これからも福島市の交流人口としての立場から考えたいと思った！
- 多様な意見を見聞きできました。これっさりじゃなくて考えることを継続できるとより深まっていきそう！また参加したいです。
- ニュースを観る視点が変わりそう(自分ごととして考える)。自分にできることを考えていきたい。
- 自分と違う価値観の人の意見を知れてよかったです！
- 幅広い年代で未来の福島市のために、こんなにもアイデアを出せるとは！驚きでした。次も楽しみです！
- 班のメンバー、会場の方の様々な意見を知ることができてよかったです。願うばかりでなく、どう形にしていくかが大切なことだと思うので、自分にできることを少しでもしていきたいと思います。特に若い方のパワーを感じられて嬉しかったです！
- 集まったみんなで、考えるまち。みんなの話を聞いて、自分事としてとらえていく事が大切だと感じた。
- まち(福島市)をつくっていくのは住んでいる私たちだ！
皆が幸福と生きがいを感じる福島に！